

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案 件 名	新消防本署庁舎建設に向けた取組について（案）	
意見の募集期間	令和元年7月1日から令和元年7月31日	
担当グループ	消防本部総務グループ	
意見の提出件数	1件	
提出された意見の概要と市の考え方		
No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>（1）消防庁舎の新設位置は問題がある。高速道路などに非常用出入口を設けるなどして避難支援のアクセスを設ける。若しくは消防庁舎の位置を別な場所に移動する。</p> <p>（2）市内でアクセスが被災時に寸断されると想定される車道を整備する。</p> <p>（3）市民が自力で自主避難しやすいように避難用の踏み分け道を山間部や丘陵に作る。普段はフットパスとして市民が活用する。</p> <p>（4）市民には命を守る72時間以内に助けに行けない可能性があることを十分周知して、自分で自分の命を守る気構えを今以上に持ってもらい、数日分の食糧の完全確保をしてもらうことが必要で、このような市の弱点などを市民に十分に周知して、自主避難しやすい町づくりを提案する。</p>	<p>（1）新消防本署建設予定地は、津波浸水予測区域外で、道道上登別室蘭線に面し、幌別地区及び鷺別地区へのアクセスがよく、日常的な災害や大規模災害のいずれにも迅速な災害対応が可能であることから、適正な位置であると考えております。</p> <p>（2）道路寸断時の場合は緊急消防援助隊や警察、自衛隊及び海上保安庁等のヘリコプターが救出活動を行う体制であり、有効かつ安全に避難できるものと考えております。</p> <p>（3）避難道については、積雪時の問題や高齢者の避難には課題があることから、短時間で避難できる本市が指定している高台の避難場所及び津波避難ビルへの避難が有効であると考えております。</p> <p>（4）市民の皆様へは、今後も防災訓練や避難訓練などを通じて周知していきます。</p>